



ADVAN firewood stove Stefany

取扱説明書

HI-7113430 (ボルドーレッド)

HI-7113432 (ペトラ)

HI-7113438 (ペルガメナ)

Stoves and fireplaces professionally realised with valuable materials and hand-made finishing; wood burning and pellet burning; our stoves and fireplaces have an high efficiency and a fair consumption in the total environmental focusing and the best Made in Italy design.

A complete collection of masterpieces, to be delighted from and to enjoy ,in a perfect home interiors, yours.

STEFANY - External facing of majolika
Extractable emailed oven
Ceramic glass resistant up to 750°C
Wood-holder

目次

安全上のご注意	1 . 2 . 3	page
各部名称	4	page
テクニカルデータ	5	page
空気の調節	6	page
安全な燃焼のために	6	page
燃料（薪）について	7	page
薪の燃やし方	8	page
使用方法	着火準備	9 page
	燃料	9 page
	燃焼中の匂い	10 page
	オーブンの使用	10 page
	消火	10 page
	灰の始末	10 page
	ガラスのクリーニング	11 page
	長期使用しない時	11 page
	メンテナンス	11 page
困った時には	12	page
寸法図	13	page

安全上のご注意 ～必ずお守り下さい～

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守りいただくことを次のように説明をしています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



■ 自分で改造・修理を行わないで下さい。

故障と思われる時は販売店にご相談ください。

■ 薪以外は使わないで下さい。

ガソリン・灯油・揮発性の高い油を絶対に使用しないで下さい。
火災の原因となります。

■ 燃焼中は室内の給気を確保してください。

室内の空気が不足し酸欠状態になったり煙が室内に逆流する恐れがあります。

警告

■ 熱に弱いものを近づけないで下さい。

燃えやすいもの（カーテン、紙、木など）を近づけると、使用時の高温で引火する恐れがあります。

■ スプレー缶は絶対に近づけないで下さい。

殺虫剤などのスプレー缶を暖炉前や周囲に絶対に放置しないで下さい。
熱でスプレー缶が爆発し危険です。

■ 取り付け工事は専門家に必ずご依頼ください。

お客様ご自身による工事は危険です。事故の原因となることがあります。

注意

■ 子供だけで使わせないで下さい。

やけど・怪我の恐れがあります。

■ 直接長時間あたらないで下さい。

特にお子様やお年寄り、体の不自由な方にはまわりの方が注意してください。
低温やけどを起こす場合があります。

■ 燃焼中や燃焼終了後しばらくは 本体、ドア、煙突には触れないで下さい。

高温になっておりますのでやけどの恐れがあります。
薪の補充などの際は熱に強い専用の皮手袋を必ずご使用ください。

■ ドアに無理な力を加えないで下さい。

ドアを閉めるときに薪などが飛び出している場合があり、ガラスが破損する恐れがありますので、十分確認しながら閉めてください。

注意

■ 薪の入れすぎに注意して下さい。

燃焼されすぎた状態が続くと、暖炉および煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので燃焼空気の調整をして温度を 250℃前後に保ってください。

■ 定期的に本体及び煙突のメンテナンスを行ってください。

使用しているうちに本体及び煙突内にはススがたまり、それが多くなると引火して煙道火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。

■ 灰受けの灰はためすぎないで下さい。

灰受けに灰がたまりすぎると。燃焼空気の流れを妨げ、燃焼効率が悪くなる原因となります。

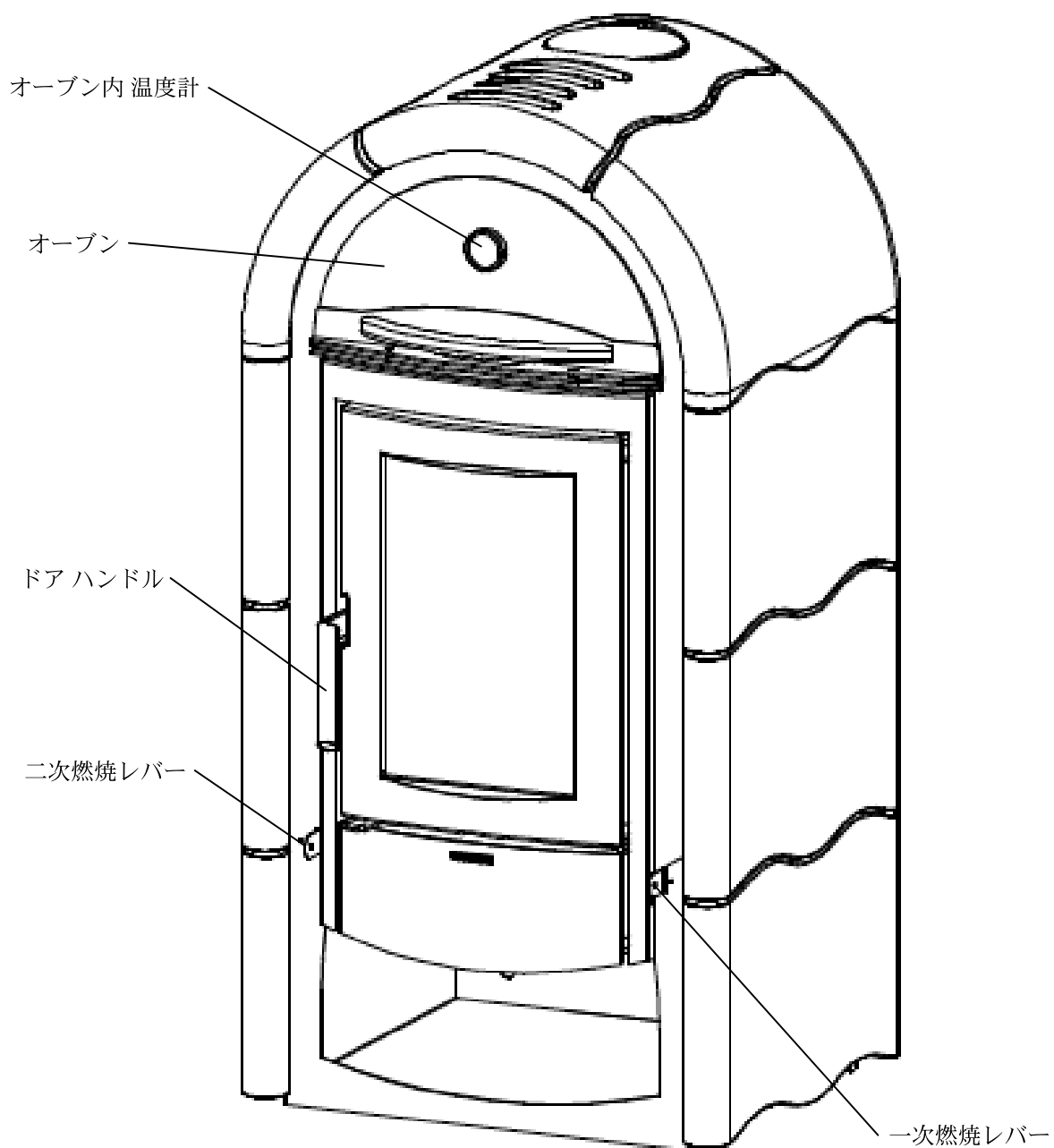
■ 外出時は暖炉本体の扉を閉めてください。

事故防止のため、就寝や外出の際は本体の全てのドアを閉め、可燃物が周囲に無いことを確認して下さい。

■ 地震・落雷後は必ず点検を行ってください。

地震や落雷にあった場合、破損や変形が生じている可能性があります。使用前に本体及び煙突の点検を行ってください。異常が見つかった場合は使用せず、販売店までご相談ください。

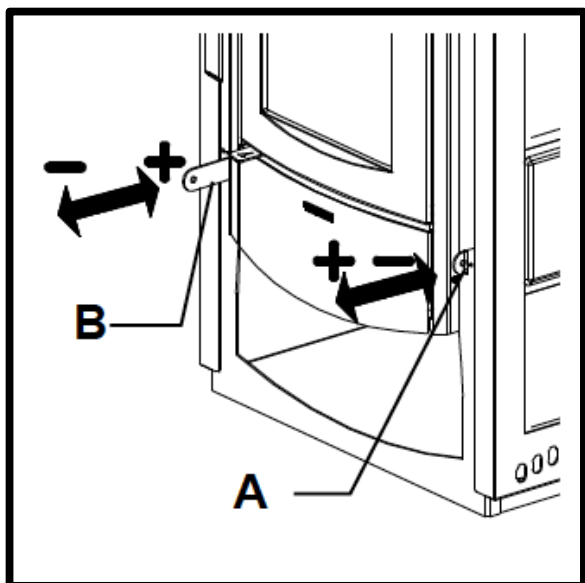
各部名称



品番 **HI-7113430 (ボルドーレッド)**
HI-7113432 (ペトラ)
HI-7113438 (ペルガメナ)

最高出力 13 kw (11.180 kcal / h)
暖房の目安 30～35 坪
最大の薪長さ 横 38 cm 縦 50 cm
熱効率 84.5 %
煙突径 ϕ 150 mm
煙突方向 上方、後方
全高 1302 mm
全幅 660 mm
奥行き 586 mm
重さ 230 kg
オーブンプレートサイズ 400 × 365 mm

空気の調節



プライマリーエアー（右側のレバー）

Aのレバーが1次燃焼用のレバーになります。使用方法は手前に引くと下部から空気が入り炎が大きく燃え上がります。この空気は燃焼している薪に直接かかります。プライマリーエアーは燃焼には必要な行程です。灰受けはいつでも空の状態にしてください。灰が一杯になると1次燃焼用の空気の入口を寒ぐ恐れがあります。燃焼している間、1次燃焼レバー空けておくと、薪が早く燃え尽きてしまいオーバーヒートする恐れがありますので、着火確認後レバーを押し込み、閉じてください。開けっ放しには十分注意してください。

セカンダリーエアー（左側のレバー）

Bのレバーが2次燃焼用のレバーになります。使用方法はしっかり薪に着火したのを確認後、プライマリーエアーのレバーを絞りを、セカンダリーエアーを絞って行ってください（レバーを押し込むと空気が入り、引っ張ると空気が止まります。）燃焼にあわせて調整してください。

慣らし運転

1つ1つのパーツが違う素材でできています。鋳物、鋼板、耐熱性の素材、セラミックガラス、マジョルカ焼きなどが組み合わさってできていますので、温度差が300℃～500℃になります。最初は必ず慣らし運転を4～5回行ってください。最初は耐熱塗装の焼きつく臭いがしますが、問題ありません。換気は十分に取ってください。薪は通常の半分ほどで試してください。

安全な燃焼のために

ストーブの取付けに関して以下の安全対策ををして下さい。

- 1) 可燃性の物から最低でも50 cmは離して下さい。特に後ろ側上部、両サイド上部は近くに物を置かないようにして下さい。
- 2) ストーブの正面に可燃物を近づける事は、禁物です。1 m以上必ず離して下さい。
- 3) ストーブの床、背面は不燃材で丈夫な物（石材、レンガ、セラミックタイル）が好ましいです。
- 4) 薪の品質によっては、燃える時、はぜる場合があります。よく乾燥した薪を使用して下さい。
- 5) 灰受皿の中の灰は高温です。取扱いは十分に注意して下さい。
- 6) 燃焼室内の残りの灰は完全に消えているとは限りません。取扱いはご注意下さい。

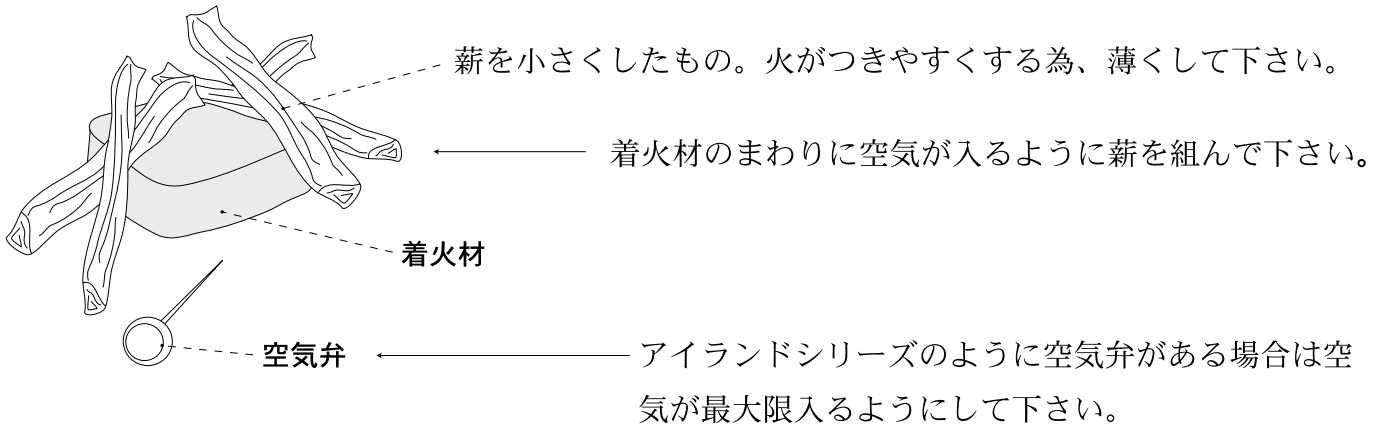
燃料（薪）について

薪の種類は、大きく分けて ナラ クヌギ サクラ などの広葉樹と スギ マツ カラマツ などの針葉樹があります。

針葉樹はヤニを多く含んでいるため、煙突内にタールがたまりやすいので避けて下さい。薪はよく乾燥したもの、最大水分含有量20%以下の薪のみとして下さい。湿った薪は火の点きが悪く、不完全燃焼します。薪の長さは40cm前後のものが使いやすいサイズです。

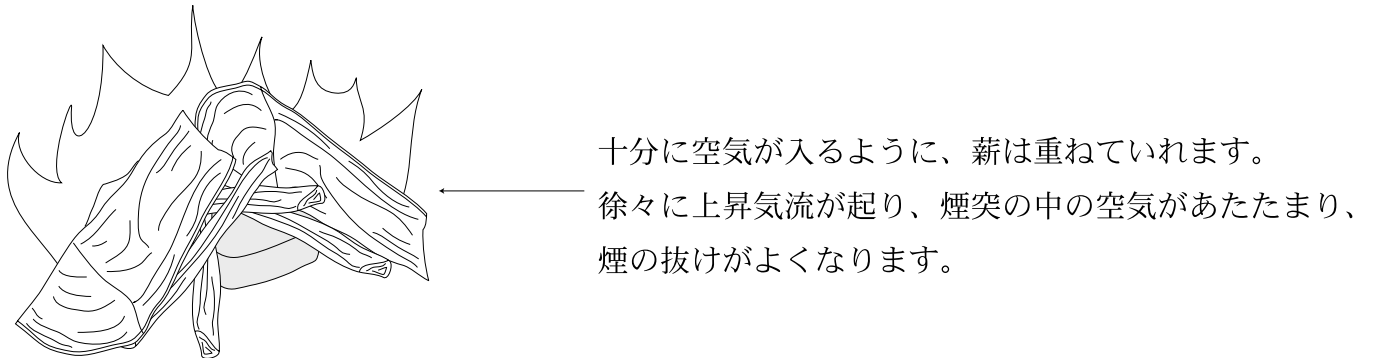
薪の燃やし方

1. 準備



2. 着火

着火材に火をつけます。たきつけに火がつくようになったら、細めの薪を入れて火力を強くします。十分な火力がないと大きな薪に火がつかず、まわりが焦げるだけになります。



【注意事項】

- 薪は少なくとも1年以上乾燥しているものが望ましいです。
水分を含んでいるものを燃やすと、不完全燃焼を起こし、大量の煙が煙突から出ます。
ご近所への迷惑にもなりますのでご注意ください。
- 廃材などを燃やすと、煙突の中に油分がつき、煙突がつまりやすくなり、煙導内火災の原因ともなります。

使用方法

着火準備

- 1次エアー調節レバーを右側（開く）にしてください。
- 2次エアー調節レバーを左側（切る）にしてください。
- ストーブの周囲から可燃物を1 m以上離してください。

燃焼

- 炎が大きい時は、ドアを開けないようにしてください。
- 空気量は空気調節のレバーで調節します。暖房の必要性に応じて開閉します。
- 通常燃焼の空気調節は、以下のとおりです。

薪の燃焼	1次エアー調節	1/4	開く	ドア下部にあります。
	2次エアー調節	1/2	開く	ドア上部にあります。
			（どちらもレバーは、左側で閉まる、右側で開く）	

- 煙突によって、ストーブの熱量は大きく変化します。正しい径の煙突を使用し、正しく施工する事が大事です。ストーブの燃焼チェックは、煙突から出ている煙で判断する事が出来ます。
- 煙が透明の時の良い状態です。煙が白い場合薪が湿っています。
- 十分に乾いた薪を使用して下さい。
- 1次エアー調節を開くと燃料消費、及び放熱、は最大になりますので注意が必要です。燃料の補充以外は、扉はいつも閉じておいて下さい。

燃焼中の匂い

煙の匂いがする時は、煙突のトップに問題があるのかも知れません。このような場合は煙突、トップの点検をし、必要であれば清掃を行って下さい。

オーブンの使用

正常な燃焼ならば、熱が回ってどんどんオーブンの温度は上がります。オーブン内部は常に清掃してください。おいしい料理を作るには温度管理が大切です。

消火

薪ストーブの場合、炎は自然鎮火させます。2次エア調節レバーを3/4まで閉め、1次エア調節レバーを左側（完全に閉めます）にします。そうすると薪が自然に燃え尽きるような状態になります。燃えかけの薪がある場合、くすぶって煙を充満させてしまいます。消火30分前は、薪を追加しないようにすると良いでしょう。急いで火を消す必要がある場合でも、水は絶対にかけないで下さい。

灰の始末

灰の清掃は、火が完全に消えて、ストーブと灰が冷えてから行って下さい。灰は可燃性の容器には入れないで下さい。火が消えている様でも燃え出す事があります。不燃性の容器（金属バケツ、陶器の器）にいれ、完全に冷えている事を確認してから処分して下さい。

このストーブは、灰受けの引出し、火格子（グリッド）を備えています。灰受けの灰は定期的に掃除をして下さい。

又、格子の上の灰は、常に3～4cm位置いて置くのが良いでしょう。

ガラスのクリーニング

ガラスの掃除は本体が必ず冷えている時に掃除して下さい。
熱い時は濡れ雑巾などで拭くとガラスが割れる事があります。

長期間使用しない時

灰を完全に除去します。 炉床、煙突、トップを清掃した後にドアをしめます。ガスケットの状態もチェックして下さい。 ストーブに密着していない場合は交換して下さい。ストーブのある部屋に湿気のある場合は、燃焼室に乾燥剤を入れると良いでしょう。 又、内外部の鋳鉄部分にはさび止め剤（中性ワセリンなど）で保護する事をお勧めします。

メンテナンス

このストーブは正常な使用ではめったに壊れません。煙突は少なくとも年に1回は掃除をして下さい。掃除はストーブが冷えている時に行います。煙突の掃除は専門の人に行ってもらい、この時ストーブの点検も一緒に行うと良いでしょう。

燃焼室など内部の掃除はブラシの付いたバキュームクリーナーを使うと便利です。

定期的な煙突掃除の時、煙突の接続、気密のチェックなども、一緒に依頼して下さい。

困った時には……

症状	原因	対策
薪が燃えない。	湿った薪を使っている。	薪は一年以上乾燥させたものを使って下さい。
	太い薪を使用している。	最初は細い薪を燃やし、徐々に太い薪を燃やしてください。
	吸気が閉じている	燃烧空気取入れ口を開いて下さい。
	煙突がすすでつまっている。	煙突掃除を行って下さい。
室内に煙が戻る。	換気扇が回っている。	換気扇を止めて下さい。
	煙突の曲がりや横引きが多い。	煙突の曲がりをなくしてください。(施工をやり直す必要がある場合があります。)
	煙突の長さが足りない。	煙突を追加する必要があります。
	煙突がすすでつまっている。	煙突掃除を行って下さい。
	煙突トップがつまっている	清掃を行って下さい。
薪の燃焼が早すぎる。	吸気の量が多すぎる。	燃烧空気取入れ口を絞って下さい。
	細い薪を多く利用している。	太い薪も使用して下さい。
	針葉樹を燃やしている。	針葉樹は燃え尽きるのが早く、温度変化も大きいので、本体や煙突に大きな負担をかけます。 安定した火力の広葉樹の薪をお勧めします。
	扉がしっかり閉まっていない。	扉をしっかり閉めて下さい。
	ガスケットが消耗している。	ガスケットを交換して下さい。
ドアガラスがくもる。	給気を絞るタイミングが早すぎる。	薪への着火が不十分な状態で給気をしぼると、不完全燃焼になり、煤やヤニが発生しやすくなります。炎が薪全体に回り、口元の温度が200℃程度になってから火力を調節して下さい。
	扉がしっかり閉まっていない。	扉をしっかり閉めて下さい。
	ガスケットが消耗している。	ガスケットを交換して下さい。

寸法図

